

令和2年8月20日

出場選手・保護者・所属クラブ  
関係者のみなさま

(一社)兵庫県テニス協会  
普及・育成本部 本部長 藤森茂樹  
ジュニア委員長 横田泰和

兵庫県夏季ジュニアテニス選手権大会 2020 (15歳以下)における  
ドロ잉のミスについて【お詫び】

平素は弊協会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、このたび弊協会で開催しました「兵庫県夏季ジュニアテニス選手権大会 2020 (15歳以下)」の予選大会のドロ잉におきまして、2020年度ジュニア冊子にある「シードおよび選考基準」に記載されているポイントを誤って算出したことが判明しました。

具体的には、男女シングルスにおいて「ウィンターP+関西P(6月)」で算出しなければいけないところを、前年のウィンタージュニアに下の年齢のカテゴリ(13歳以下)で出場した選手のウィンターポイントを加算しておりませんでした。

ドロ作成については、シード資料作成担当者が作ったポイント表をもとに、担当年代のジュニア委員が複数名で集まって出来上がったドロを確認するという作業をおこないましたが、本来あってはならない類のミスをおこしてしまい、本大会を楽しみにしていた選手ならびに保護者・所属クラブなど関係者のみなさまの気持ちを考えると、本当に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

今後は再度このようなミスを起こさぬよう、複数名でポイント表から作成・チェックするとともに、ドロ確定の前に一定の期限を設けて仮ドロを公開し、選手・保護者・所属クラブのみなさまにも確認していただけるような方式を検討しています。また、年代の異なるジュニア委員によるチェックも行いたいと思います。

今回の予選につきましては、JTAルールブックにある規則の通り、試合が行われてからのドロ잉ミスの発覚ですので、それぞれご不満な点はおありとは存じますが、ドロ잉をしなおしての再度の予選はいたしません。